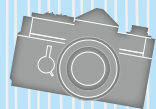


# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



## 新しい社会のかたちの研究舞台に 九大産学連携セミナー「地域政策デザイナー養成講座」



▲5月30日に行われた共同記者発表。5市町の長と九州大学総長・理事・担当教員が参加しました

福津市と大牟田市、大川市、佐賀県小城市、佐賀県みやき町の5市町は、九州大学の産学連携セミナー「地域政策デザイナー養成講座」で政策提言を受けることになりました。この講座は、企業に勤める社会人などの一般受講生と九州大学大学院の学生から成るものです。開講10回目となる今年度のテーマは「持続可能な地域に資する政策デザインの実践」新しい社会のかたち」。市の取り組みテーマは「空き家活用です。11月までの約半年間、市を担当する6人の受講生は、さまざまな分野で活躍する講師の講義や、現地でのフィールドワークなどを通して、課題解決に向けた提言をまとめ、発表を行います。原崎市長は共同記者発表で「市の空き家活用の仕組みは、全国のモデルケースとなっている。これを研究してもらい、既定概念にとられない、より持続可能性のある空き家活用の提言を期待している」と話しました。

## 水害を未然に防ぎ、最小限にする

市消防団と宗像地区消防本部による水防訓練

日蔭野地区の西郷川と上西郷川の合流地点のそばにある集いの駅で6月9日、市消防団と宗像地区消防本部による水防訓練を実施しました。

訓練は福岡地方全域に大雨・洪水警報と土砂災害警戒情報が発表されたとの想定で行いました。初めに市長や市職員が、災害対策本部の設置や避難指示（緊急）の発令などの手順を確認しました。そ

の後「川に溺れた人がいる」との通報で、消防隊が出勤している」との消防本部からの通報を受けて、消防団が出勤するものでした。消防団は土のう作成や、護岸の決壊を防ぐためのシート張り、浸水を防止用の板を設置する訓練を行い、万が一に備えた対応を確かめました。



▲消防団員による水防活動で使う土のうの作成訓練



▲消防団員による溺水者をはしご車で救出する訓練

## 藍染めで思い出づくり

保育園で藍染め体験



▲28人の園児が藍染めにチャレンジしました

津屋崎保育園の園児が5月28日に藍染め体験をしました。津屋崎千軒民俗館「藍の家」を拠点に活動している津屋崎藍いろの会の指導のもと、園児は先生や保護者と一緒に、藍染めを楽しみました。染色を繰り返すことで、シャツが藍色に変わっていく様子に、子どもたちからは歓声が上がっていました。保育園の先生は「皆さんのおかげで、子どもたちにとって貴重な思い出ができました」と感謝の気持ちを語りました。

## 福津出身の選手が活躍

九州プロレスの「福津ば元気にするバイ！」



▲相手を抑え込んで勝った旭選手

津屋崎体育センターで5月19日、九州プロレスの試合が行われ、500人を超える観客が集まりました。3試合のトリを務めたのは福津出身の旭志織選手。九州プロレス最大の巨漢レスラーとも言われている阿蘇山選手と戦い、序盤は不利な展開でしたが、勝利を収めました。旭選手は「生まれ育った福津で勝てて良かった」と話していました。

## マリンスポーツの聖地で熱き戦い

ウインドサーフィンとSUPの全国大会予選会



▲パドルを全力でこぐ選手たち

福岡海岸で5月18日、ウインドサーフィンとSUPの全国大会の予選会が行われました。福岡海岸一帯は波や風などの条件がマリンスポーツに適しているとされています。大会には全国各地から選手が集まり、熱戦を繰り広げました。サーフボードの上に立ち、パドルを漕いで進むSUPの2kmの部で優勝したのは市内在住の中村真大さん。「2位の選手とは最後まで接戦だった。優勝できてうれしい」と喜びを語ってくれました。

## 星ヶ丘の万葉歌碑を探訪

津屋崎里歩きフットパス



▲星ヶ丘の高台の公園にある万葉歌碑

津屋崎千軒「海とまちなみの会」が5月19日にフットパスを行いました。フットパスとは、ありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小道のこと。ガイドの案内を受けながら、在自の金刀比羅神社などを歩きました。中でも万葉歌碑の前では、令和の由来である万葉集にちなんだものという点も興味あり、参加者は熱心に聞き入っていました。